

コベルコ建機



売上高

+45.9%

3,131億円

経常利益

+375.2%

263億円

経常利益率

+5.8 points

8.4%

2010年度の概況

コベルコ建機(株)では、主力市場である中国での販売台数が、2009年度を大幅に上回りました。また、需要の回復が続く東南アジアや、需要が持ち直した国内の販売台数も、2009年度を上回りました。また、コスト競争力を強化するため、国内においては生産性向上活動や原価低減(VE)活動にも取り組みました。

この結果、売上高は2009年度比45.9%増の3,131億円となり、経常利益は、2009年度に比べ207億円増益の263億円となりました。

	億円		増減率
	2009年度	2010年度	
売上高	2,145	3,131	+45.9%
経常利益	55	263	+375.2%

TOPICS

「オートアイドルストップ(AIS)機能付きバックホウ」と「iNDR(冷却システム)搭載極低騒音型バックホウ」がNETIS(新技術情報提供システム)に登録

当社の独自低燃費技術である「オートアイドルストップ(AIS)機能付きバックホウ」全機種*、そして、「iNDR(冷却システム)搭載極低騒音型バックホウ」8機種において、国土交通省のNETIS(新技術情報提供システム)に登録されました。

*ミニショベル、BOMAG製品、マグネット仕様機械など一部を除く。



インド油圧ショベル新工場 本格稼働開始について

インド子会社である「KOBELCO CONSTRUCTION EQUIPMENT INDIA PVT. LTD.」は、4月14日にインド南東部アンドラ・プラデッシュ州に建設した油圧ショベル新工場の開所式を執り行い、新工場本格稼働を開始しました。中国に並ぶ人口と広大な国土を持つインドは、リーマンショック後も順調に経済発展を続けており、旺盛なインフラ整備を背景に、油圧ショベルの需要が年々増加しています。2010年の油圧ショベルの需要は日本に迫る11,000台となり、2015年には25,000台に拡大することが期待されます。新工場で生産する機種は、20トンクラスの油圧ショベルで、1,200台/年の生産能力を備えています。



ハイブリッド油圧ショベル「SK80ハイブリッド(SK80H-2)」が平成22年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰(技術開発・製品化部門)を受賞

当社ハイブリッド油圧ショベルは、現行通常機と比較し、40%のCO₂削減(燃費低減)を実現しました。製品の開発にあたっては、(株)神戸製鋼所 西神研究所の協力を得るなど、神戸製鋼グループの技術の粋を結集した製品です。コベルコ建機の低燃費技術は、ハイブリッド油圧ショベルだけでなく、通常の油圧ショベルにも遺憾なく応用され、例えば20トンクラスでは、従来機比較で20%の低燃費を実現しています。今後も低炭素社会の実現に向け、引き続き包括的なCO₂削減に取り組んでいます。

